

TECHNICAL DATA

種類	建築仕上用剥離剤 (洗淨不要タイプ)
製品名	キクスイ リムーバーS

第8版 作成日：2023年 4月 1日



菊水化学工業株式会社

施工仕様書

種類：建築仕上用剥離剤(洗浄不要タイプ)

製品名：キクスイ リムーバーS

用途：有機質系仕上塗材(薄塗材E、複層塗材E、厚塗材E)及び有機系塗料を素地(コンクリート、モルタル、スレート板など)から除去する場合に使用

1. 工程表

(23℃)

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	放置時間(hr)	塗付量
養生	剥離対象以外の箇所(開口部、建具周り、ゴム、プラスチック製部品等)には、ポリエチレンフィルム・粘着テープ等を用いて被覆養生する。 剥離箇所周辺は剥離剤が飛散するのを防止するため、シート養生を行う。				
塗布	キクスイ リムーバーS 主材：20kg 無希釈	ウールローラー 左官刷毛 溶剤用刷毛 等	別表に記載		20~25㎡/20kg 0.8~1.0kg/㎡
除去	-	金べら、かわすき スクレーパー等	-	-	-

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

旧塗膜の種類と放置時間

(23℃)

旧塗膜の種類	放置時間(目安)
外装薄塗材E(アクリルリシン)	8~25分
複層塗材E(アクリルタイル)	8~40分
複層塗材RE	20~40分
防水形複層塗材E(弾性タイル)	30~60分
ウレタンゴム系塗膜防水材	40~80分

※ 上記の各数値は、すべて標準のものです。塗膜の種類、膜厚、劣化の程度、気象条件等により異なります。予めテスト施工を行い、軟化の程度、塗付量・放置時間などを確認、決定してください。

2. 材料荷姿

剥離剤：キクスイ リムーバーS

NET：20kg/缶

3. 施工要領

○製品を取り扱う場合には、特定化学物質作業主任者を選任し、特定化学物質作業主任者の指示に従ってください。

3-1. 材料混ぜ合わせ

○缶のキャップを取る場合は、ガス抜きを行ってください。

○材料は、希釈せず使用前によく混ぜ合わせてください。

3-2. 養生

○ゴム・プラスチック類を軟化・膨潤させるため、剥離対象以外の箇所には、ポリエチレンフィルム、粘着テープ等を用いて養生してください。

○剥離箇所周辺は、剥離剤の飛散および剥離対象物の落下を防ぐため、シート養生をしてください。

○植木などの保護のため、シートを覆い排水や塗膜カスが掛からないようにしてください。

3-3. テスト施工

○予め旧塗膜の剥離状態を把握するため、旧塗膜にキクスイ リムーバーSを塗付し、軟化の程度、塗付量・放置時間などを確認、決定してください。

3-4. 塗付

○ウールローラー又は、はけなどを用い、ムラにならないよう均一に塗り付けてください。

○降雨、降雪、結露のおそれのある場合及び強風時は施工を避けてください。

○施工場所の気温が5℃以下の場合は、軟化しないことがありますので、施工を避けてください。

○湿度85%以上では施工を避けてください。

3-5. 除去

○十分に材料が浸透し、軟化・膨潤するまで放置してください。

○旧塗膜をスクレーパーなどで除去してください。

○一度で除去できない場合は、剥離剤を再度塗り付けて除去してください。

○除去した塗膜は、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

成分表

剥離剤：キクスイ リムーバーS

内 容	重 量 (%)
塩素化炭化水素	80.0~90.0
アルコール	1.0~10.0
ワックス類 等	1.0~10.0
計	100.0

性能試験成績書

種類	建築仕上用剥離剤(洗浄不要タイプ)	
製品名	キクスイ リムーバーS	
供試材料	キクスイ リムーバーS	
	試験項目	結果
外観	淡青色の粘稠液で粗い固形物を含まず、振とう後3時間静置したとき、分液、沈殿を生じてはならない	合格
作業性	常温においてはけ塗り作業に支障のないこと	合格
剥離力	標準品と剥離比較を行い軟化時間が標準より15%以上長くかからないこと	合格
—以下余白—		

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

一般的な注意事項

《環境》

- 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられる場合、外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- ゴム・プラスチック類を軟化・膨潤させるため、剥離対象以外の箇所は養生してください。
- 施工面周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 施工途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、剥離剤に水分が当たらないようにしてください。
- 必ず使用前に既存塗膜の種類、膜厚、劣化状況などの事前調査を行い、剥離剤との適性を確認し、塗付量、塗回数、塗付後の放置時間などを確認、決定してください。
- 材料は希釈せず使用してください。
- テスト施工で決定した塗付量及び放置時間を守って施工してください。
- 材料を取扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

《保管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 開缶時は確実に密栓し保管してください。
- 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を与えるなど粗暴な取扱いはしないでください。
- 材料を保管する場合は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：旧MSDS)を参照してください。
- 適切な保護具（化学防護服、保護手袋、保護眼鏡）、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 合成樹脂などの電気絶縁性の床で材料の保管や取扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。

- 開封後、やむを得ず保管する場合は密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 保管場所、取扱い場所とその周辺には、塗装中、放置中、剥離中共に、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に塗装後の放置過程では蒸発面積が広がるため、引火性の高い蒸気が発生する恐れがあります。注意してください。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあります危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 素地及び塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようにしてください。